

別記

要 求 書

前投條件

会社営業ヲ開始シタル時ハ前田提出シタル要 求 書ヲ承認ノ上金貨之使用スルコト

一金壹万五千元(山七)

但工場解散ヨリ總テノ年々トシテ千三百元
各分各一人ニ付五百元宛

二 年 議 中 ノ 日 給 金 額

三 年 議 費 用 金 額 (三 月 出)

右金額ノ支拂ヲ要ス

一九二九、九、二二

年 議 団

回 答 書

一 工場解散手当金ハ各人ニ付日給十五日分宛支給ス

二 罷 業 中 ノ 日 給 金 額 ハ 拒 絶 ス

三 年 議 費 定 額 百 元 支 給 ス

以 上

九、二七、

會 社

別記一

本島ゴム兄弟諸君に對シ

産業業々合理化金解の準備に於て堅縮政策は賃金値下時に向延長首切臨時休業工場閉鎖等を以て本島兄弟の勢力及び風氣は如く俺達労働者を生殺すドニ存ひ是れ此方といふ居る此の次員が政勢をハ不返すは團結の力を是工中電三月八日玉川電報中從其末員當矢ゴム。望すといふ上座の次員本家の政勢をハ不返して是方敢に戦ひつゝ、其の團結の成りを

親愛なる兄弟諸君

当矢ゴムの從其末員が諸君は賃銀値下言切及対機械の故障工場が都合に依り臨時休業は日給金額を支給しろと言ふて要求をしたが然るに會社の回答は前達はなす程なり日給では食ひなつたらうたか會社は儲ける者には犠牲になつて働けと云ふのだある人馬を馬にしたり回合に全従業員は憤がひいて年議を起したたか然るに本島ゴム工場主は此の血も涙もない會社に力タンして當矢ゴムの制衣品を引受けて首か、りの首を引張る様な事をし居るのだ

親愛なる兄弟諸君本家の味方は次員本家を労働者味方は労働者を親愛なる兄弟工即時休業費大會を圍ひて必死の戦ひをわかつたが工場主は要求を多々きつてはアタリヤゴムの年議には年議を以て應援しう